

九州工業大学主催 令和4年度高大連携 課題研究発表会・技術コンテスト 理数科ARⅡ生物班 最優秀賞 受賞！

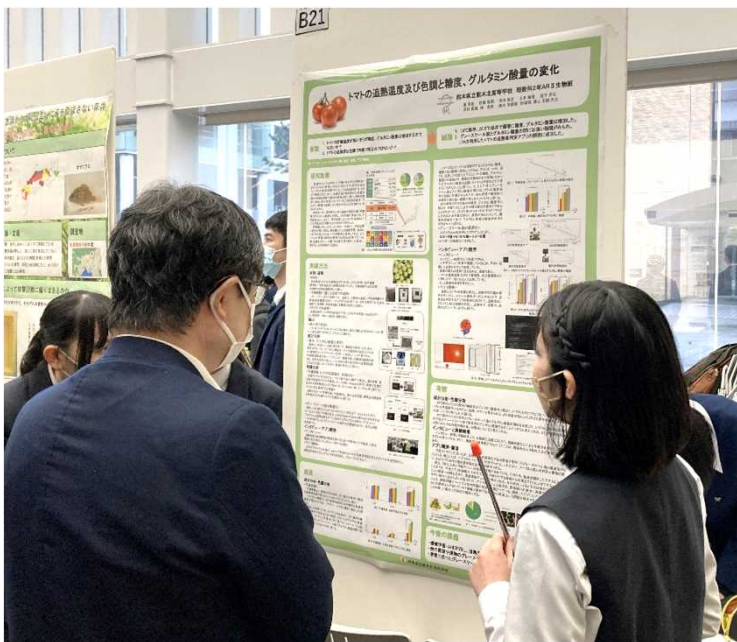


図1 高大連携課題研究発表会における発表の様子

3月21日(火)に、「令和4年度高大連携課題研究発表会・技術コンテスト」が九州工業大学を会場に開催されました。

3年振りに対面形式で開催され、全19校から500名近い高校生が参加しました。本校からは、

理数科の各班がARⅡの研究成果を持って参加しました。いずれの班も積極的に発表や質疑応答を行いました。

そして、本校理数科生物班が「生物部門最優秀賞」を受賞しました。発表テーマは、「トマトの追熟

温度及び色調と糖度、グルタミン酸量の変化」でした。実験だけでなくアプリ開発を行っている点が高く評価されていました。

いずれの班も、大学の先生方から直接指導・助言を頂ける等、貴重な機会となりました。

SSH NEWS

令和4年度SSH研究開発実施報告書 第Ⅲ期 1年次完成・公開しました



本校SSH第Ⅲ期研究開発1年次の報告書が完成しました。

研究開発の効果をより詳しく評価するために「SSH事業の有用感調査」や課題研究や人生キャリアに関する複数の尺度である「SSHに関するアンケート」の調査結果を掲載しました。

1年次の達成状況は表1のようになり、概ね当初

目標を越えて達成することができました。

課題研究への取組が、在り方・生き方にどのような影響を与えるのかについて引き続き調査・分析を進めていく予定です。

QRコードから北高HPのSSH報告書全文にアクセス可能 →



表1 熊本北高校SSH研究開発の達成状況 (SSH研究開発実施報告(要約)より引用)

研究開発の柱	達成状況
研究開発R 課題研究推進・普及	第1年次計画は十分達成し、第4・5年次の年次計画の目標にも一部到達
研究開発L リーダー育成	1年次の年次計画は十分到達
研究開発C 共創体制構築	1年次の計画に加えて、2・3年次の目標が到達し、さらに5年次の目標にも一部到達

新年度のご挨拶 — SSH第Ⅲ期2年目へ —

第Ⅲ期2年目を迎え、3学科の特色を生かしたAR、UR、GRは、いよいよ2年次の本格的な課題研究がスタートします。

熊本北高校では、全校での推進体制を確立するために、デジタルポートフォリオを利用した課題

研究担当者会議であるPLC(Professional Learning community Conference)及び、SSH運営委員会を開始しました。

今年度は育友会、同窓会とも連携を深め、生徒達が課題研究を通して

自身と向き合い、確かな力を育てていけるよう、より一層の支援をしていきます。SSH NEWSでは生徒達の活躍や研究開発の工夫等についても発信していく予定です。御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。